



磯部 亜希 議員

(仮称)
マキノ小学校について

問 10年、20年経っても、誇らしく思えるような
小学校の新設について

答 子どもたちが楽しく学ぶことができ、卒業後にも母校に誇りが持てるような学校づくりに向けて、準備を進めてまいりたいと考えています

問 小学校新設にあたり、10年、20年経っても誇らしく思えるような小学校をと考えるが、どのような認識か。

答 教育指導部長

学校生活を安全に安心して

問 小学校統合後の、小学生と中学生の同乗を含めたスクールバスをはじめとする通学方法について問う。

答 教育指導部長

通学区域が拡大することから、公共交通機関や通学用バス・タクシーの運行等についての検討が必要と考えています。交通施策の担当部局や車両運行事業者等との連携を図り、安心で安全な小中学生の通学方法について、小学校開校準備協議会を中心に検討を重ねます。

問 カヤックを使った自然教室など、マキノの3小学校で行われている特色ある教育活動の活かし方について問う。

答 教育指導部長

3小学校の教職員および保護者や地域の方々を中心に構成される小学校開校準備協議会で十分な協議を行っていただき、新小学校の開校に向けて準備を進めていきたいと考えています。

問 学校施設のハード面について、

①木造もしくは子どもたちの手が触れる部分の木の造作

- ②校舎の採光の取り込み
- ③エレベーターの設置
- ④駐車場の確保
- ⑤体育館における空調設備の設置と音楽ホールの要素を取り入れること

について問う。

答 教育指導部長

新築する校舎の施設や環境の整備において、検討しなければならぬ重要な内容であると考えています。小学校開校準備協議会のご意見を頂戴しながら、新小学校校舎建築に向けて準備を着実に進めていきたいと考えています。

その他の質問

能登半島地震の被害や対応から学び、高島市で活かしていく事柄について